

ぴんぽーん

支援便り第 81 号



家庭教育支援事業 子育て支援課

85-2021

令和 5 年 12 月発行

～7月に実施したアンケートにご協力いただき、ありがとうございました～

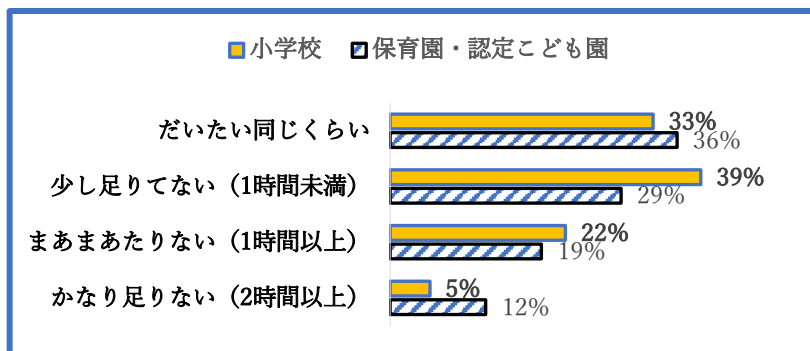
皆様にご協力いただいたアンケートの結果を何回かに分けて報告させていただきます。

回収率は小学校 57%、保育園認定こども園 69%で、前回とほぼ同じでありました。

家庭教育支援員の「訪問を希望する」「今後希望するかもしれない」との回答は、小学校、園ともに 4% で実際に訪問相談につながるケースが多かったです。利用した保護者からは、相談してよかったとの声が多く聞かれました。乳幼児期に相談した保護者が、学年が上がってからも利用しているケースが多かったです。

Q3 ③ 日本の子どもたちは、世界で最も睡眠時間が短いそうです。お子さんの「睡眠」についてお聞かせください。

1、お子様の睡眠時間は、推奨時間と比べて・・・



【推奨時間】

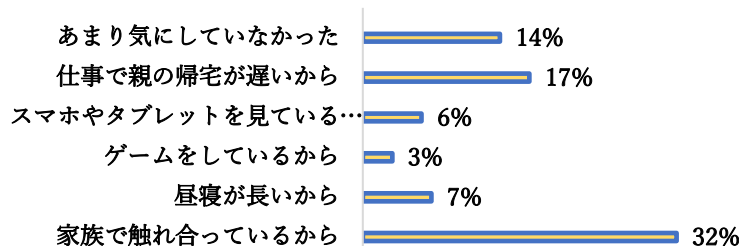
- ・1～2歳は12時間30分
- ・3～5歳は11時間30分
- ・6～9歳は10時間
- ・10～12歳は9時間30分



「まあまあ足りない」「かなり足りない」を合わせると、学校では27%・園では31%となります。約3割の家庭で、睡眠時間が足りていない現状です。

2、どうして足りなくなるとお思いますか？（複数回答）

保育園・認定こども園



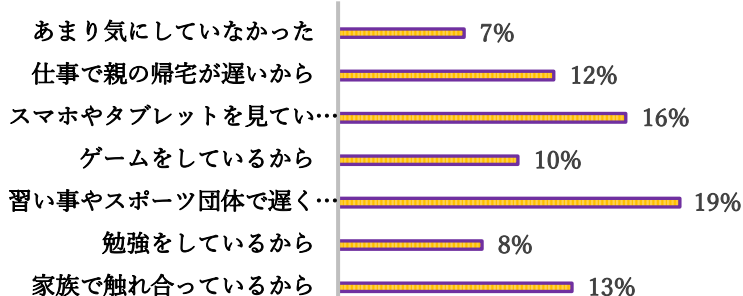
・園では「家族で触れ合っているから」が一番多く、次が「仕事で親の帰宅が遅いから」が続きます。学校では「習い事やスポーツ団体に遅くまで活動しているから」が一番多く、次は、やはり「仕事で親の帰りが遅いから」です。

・子育てと仕事の両立の中で工夫されていることも沢山書いていただきました。園・学校ともに「早めに寝かせる」「生活のリズムをくずさない」「体を動かす」等々皆さんの努力が分かりました。

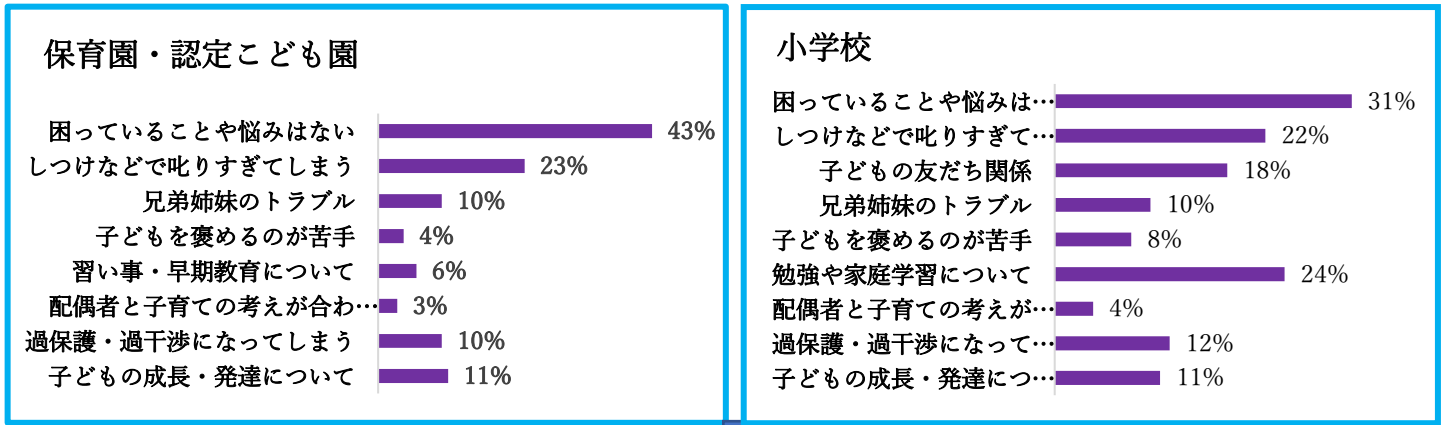
・「習い事やスポーツ団体の活動で遅くなる」「スマホやタブレットの使用・ゲームで遅くなる」も見逃せません。休養や睡眠の妨げにならないように気をつけたいものです。



小学校



4、家庭でお子さんとの関わりなどで、困っていることや悩んでいることは？



・「困っていることや悩みはない」が園43%・学校31%という結果でした。反対に何かしらの困り感や悩みを抱えているということです。悩みは個人で違うので、悩み相談は園や学校だけでなく、「訪問型家庭教育の個別相談」も気軽に利用してください。一人で悩まないで話してくださいね。

“みんな悩んで親になる”
まずは電話を！

訪問型家庭教育支援チーム
☎ 090-1528-9018

Q4 ③ 知りたいこと・学びたいこと、子育てで困っていることなどは？

*自由記述欄にたくさんの書き込みありがとうございました。お答え出来る範囲で書かせていただきます。

★ **町内の公園について…使用中止の遊具が多く、運動能力を向上するために外遊びをさせたいが…**

*このアンケートに限らず、子どもにとって欠かせない外遊びの場として、公園の老朽化は多くの方が心配しているところです。町としても改善のため少しずつ整備に取り組んでおり、昨年度は萩の里自然公園の園路整備とアヨロ公園で一部の遊具更新を行っています。令和5年度は、桜ヶ丘公園の複合遊具更新のほか、末広・栄町・東町1号・東町2号・あけぼの公園ですべり台やブランコなどの一部遊具の更新を行っています。

次年度以降も計画的遊具更新を予定しており白老町HPや広報などでお知らせしていきます。

*特に幼児期は遊具がなくても、お外を子どものペースでお散歩するだけで“五感”からの刺激を受け、体を成長させることができるので、家族の時間としてお勧めします。

★ **仕事との両立・頼れる人がいない…共働きやシングルの方から切実な声が届きました。**

・子どもが体調不良の際の手助け、子どもに習い事がさせられない、土日祝日も仕事がある…。

*白老町ファミリーサポートセンターでは、休日託児や習い事の送迎を行っています。要件はありますが、病气託児もしています。条件によっては、利用料の助成も受けられますので、気軽に相談してください。

(☎82-3926 ☎090-6215-3920 子育てふれあいセンター)

★ **自転車について…園児も小学校低学年も、自転車での行動をどこまで許していいのか？**

*補助輪がはずれると、一人で公園や友達の家に行きたくなりますよね。発達段階としては、遊びに夢中になる時なので、一人で自由に乗ると大変危険な状況にもなります。子どもによって違いはありますが、目安としては「就学前は子どもだけで自転車に乗って移動しない」「小学校低学年は、保護者と安全確認など練習しながら、保護者が認めた範囲で使用する」ことをお勧めします。

*親の知らないところで、ちょっと危ない乗り方をしてしまうこともある時期です。親同士や地域の方と「乗り方が危なかったら声をかけてくださいね。」など、見守ってくれる人を増やしたいですね。保護者の交流や懇談会なども始まっていますので、自転車については乗り始めの春の時期などに話題にするとよいでしょう。

待っています

小さな不安や悩みを、話してみませんか？話しながらすっきりしたり、自分の考えがはっきりされる方が多いです。

訪問型家庭教育支援員 ☎090-1528-9018(休日・夜でもOK。出られない時はかけ直します。)

役場建設課から